



あさのめ

日本再生 浅野目 義英
ページをめくれ!

政治の混乱続く

裏金問題で、政治への信頼が大きく揺らいでいます。国民の怒りが爆発し、不信の視線が政権へ注がれています。

国会議員の定数削減、歳費見直し、選挙制度改革など、政治改革を断行する勢力が登場しなければなりません。政治資金規制法のみならず、選挙制度改革をし、思い切った舵取りで政治への信頼回復を果たし、政治の劣化を防ぐことが急務です。

日本の国難続く

政治の無策で日本の成長はずっと横ばいです。30年間「給料は上がらない」「格差は広がる」が続いています。

しかし、世界はその間もグングン成長しており、日本だけがドンドン取り残されています。

「物価上昇と税金の圧力につぶされる」「希望ある日本にして欲しい」活動エリアの駅頭で多くの声を頂いています。

貧困・格差は拡大し、国民は悲鳴を上げています。

政権を担ってきた政党は何をやってきたのでしょうか。

今のままでは何も変わらない 日本再生へ

究極の極限状態でも十分な改革しなかった結果

日本の危機迫る

こんなにダウンした日本の実像

国際競争力総合順位 1位(1992年)→35位(2023年)
国民負担率 24.3%(1970年)→46.8%(2023年)
一人当たりの名目 GDP 2位(2000年)→31位(2022年)

希望が持てる社会ですか？

10～39歳の死因1位は自殺(厚労省)
30代半ば～50代半ば世帯所得は20年前と比べ100万円減少(NHK)
60歳70歳代で貯蓄ゼロは5人に1人(東洋経済)

子供、孫の世代が心配ではありませんか？

将来の夢がない子供40% 米国6%、中国4%(経済産業省)
出生数過去最少約76万人。加速度的に深刻化する少子化。(厚労省)

A級戦犯と無責任勢力は退場せよ

日本再生を構想する

- 未来が見えない。と言われます。政治は、日本の可能性、国民一人ひとりの可能をより広げていく作業です。
- それなのに、夢をつくれぬ、希望が持てない。そんな社会をつくってしまった、A級戦犯の政治家と政党はみな退場です。
- 無責任に足を引っ張る、引き延ばす「反対のプロ」も政治劣化の根源です。
- 今のままでは何も変わりません。

日本再生を構想し、ページをめくりましょう。

浅野目 義英

このチラシは、強大な2大勢力に挑む、あさのめさんの考え方に共鳴する人たちの力で作られています。

浅野目 義英 あさのめよしひで

1958年東京生まれ、山形県米沢市育ち。
法政大学社会学部卒。小学校教員。
全国最年少25歳で上尾市議初当選。その後4期連続当選。
37歳で全国最年少議長。上尾市長選挙で次点敗退。予備校講師等、政治浪人7年。
埼玉県議(浦和区)4期連続当選。参議院議員上田清司秘書。日本維新の会の公募合格。「今のままでは何も変わらない」を胸に抱き、強大な2大勢力に捨て身の挑戦を決意。
好きな言葉
「一の働きが十を動かし、千につながり万を崩す」(キングダム)

あさのめ 見沼区事務所

日本維新の会 衆議院埼玉県第1選挙区支部
〒337-0053
さいたま市見沼区大和田町 1-1389-201
(マルエツ大和田店さん向かい、文具の心誠堂さん2F)

Tel.048-673-6439 Fax.050-3535-9345

Mobile.090-5413-0066

メール：saitama1@asanome.com
ホームページ：https://asanome.com

あさのめ 浦和区事務所

前埼玉県議会議員 浅野目義英 あさのめ事務所
〒330-0075
さいたま市浦和区針ヶ谷 2-9-2-301

asanome.com



日本再生 あさのめ7つの政策

政治の無策で国力が一気にダウン

① 身を正し改革の先頭に立つ

日本維新の会は、これまでも、企業・団体(組合含む)からの献金の受取禁止を貫く。またブラックボックスと言われる旧文通費の領収書公開などを、独自先行で実行。現在も、地方議員は報酬2割を寄付。国会議員は歳費2割を寄付+期末手当3割削除。党へ戻し、党から被災地など様々な所へ寄付を実行中。国力が一気にダウンの時、政治に携わるものが責任を感じ、身を正し、「透明化」「身を切る改革」をより深化させる。

全世代に素早く恩恵を

③ 社会保険料の負担軽減

国民負担率(所得に対する税と社会保障の割合)は、46.8%。消費活動を抑制。少子高齢化に伴い、現役世代の社会保険料負担が増大している。現役世代にかかる過度な負担が経済社会の活力を低下させ、少子化が進む悪循環を加速させている。社会保険料の負担を軽減する。現役世代や低所得者を含む全世代に素早く恩恵を届け、経済の活性化を促進する。

命こそはかなく、かけがえのないもの

⑤ 命を救え、命を守れ

高度専門医療の提供、医療水準の向上を果たす。健康で安心して生きられる医療体制をつくる。がん・難病対策を進める。医療防災産業を日本の基幹産業へ押し上げる。道の駅に高機能可動コンテナ設置。児童虐待は社会全体で取り組みゼロへ。児童養護施設の高機能化・多機能化を進める。障がいもっていても共に生きられる社会を。愛ある動物保護政策を進める。

未来のための環境保全

⑦ 見沼たんぼを守れ

見沼たんぼは八代将軍吉宗の命により開拓された新田。現在は約12.6km²(浦和区11.5km²)という首都圏でも稀な大規模緑地空間。自然の治水機能を有し下流域を守っている。多様で重要な価値を持つ見沼たんぼを守り、自然、生きがい、共生、美しさを追求する共存空間としてさらに価値を高める。構造物建設には不向きな地盤で、災害対策の見地から見沼たんぼを横断する高速道路建設には反対。脱炭素へ次世代技術開発を後押し。

貧困・格差拡大 国民は悲鳴を上げている

② 消費税減税

インフレこれだけ進み、国民生活を守れるか。増税ねらう政党が並んでいる。国民は右を見ても左を見ても地獄。消費税8%への引き下げを断行しなければならない。その後は、経済状況を考慮し、将来的な地方税化と税制改革を合わせて検討。経済対策においては、将来世代の負担と過度なインフレを招かない範囲で、増税のみに頼らない成長重視の財政再建を行う。世界の先頭に立つ産業を育成し国力を増大させる。

人間関係プログラムの充実

④ 教育投資への重圧軽減

大学卒業までにかかる授業料や給食費の無償化を実施。さらに、さまざまな子育て支援サービスに利用できる子育てバウチャー ※やスポーツ、音楽、珠算、学習塾などの習い事を応援する教育バウチャー ※の導入を推進させる。特技を伸ばせ。どんな子にもチャンス。人間関係プログラムで、尊敬・友愛等、人と関わる際に必要となる力の育成。
※バウチャー: 国・自治体などが目的を限定し、個人を対象に補助金を支給する制度

インターネット投票の実現 など

⑥ デジタル化の促進

ブロックチェーン技術等を活用したインターネット投票(スマホ投票)の実現を目指す。コンビニ投票を導入するなど投票方法の多様化を進める。公文書の管理・保存は総デジタル化を原則とし、ブロックチェーン技術等の導入により徹底した書き換え・改ざん防止の仕組みを構築する。デジタルで支える暮らしと経済を進化させる。国がもつ情報の公開を進める。

あさのめは、見沼たんぼ斜面林の公有地化を県議時代に実現させる。

(公社)さいたま緑のトラスト協会保全1号地にて、ヤギと。



あさのめ

衆議院埼玉県第1選挙区支部活動エリア

個人献金のお願い
(資金管理団体)

* 埼玉りそな銀行
* 三菱UFJ銀行
* ゆうちょ銀行

あさのめ後援会
あさのめ後援会
あさのめ後援会

浦和中央支店
浦和支店
記号 10350

普通 5185838
普通 1337826
普通 28760311